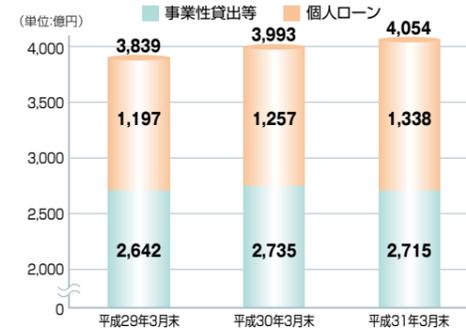


貸出金の状況

貸出金残高

4,054億円

貸出金は、住宅ローンを中心とした個人向け融資が大きく伸長し、期末残高は前期比1.51%増加の4,054億円と6期連続で増加しました。



事業性貸出先数

4,493先

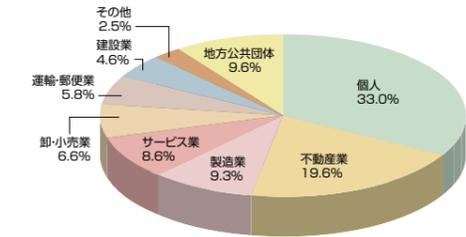
事業性の貸出先数は、ビジネス情報のご提供や補助金の申請支援、呉創業支援ネットワーク等を通じて創業支援へ取組むなど、経営上の課題解決に繋がる提案活動に取組んだ結果、年間82先増加の4,493先となりました。



※事業性貸出先には、地方公共団体、金融機関向け貸出を含んでいません。

貸出金業種別残高構成比

地域貢献のバロメーターである貸出金の90.3%は、個人やさまざまな業種の中小企業をはじめとした地域のお客様に幅広くご利用いただいています。

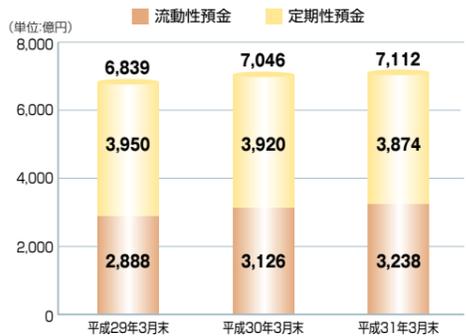


預金積金の状況

預金積金残高

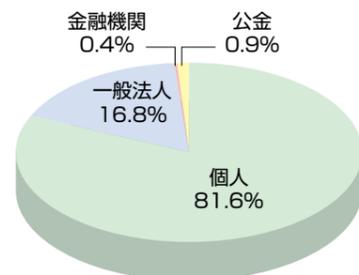
7,112億円

預金積金は、給与・年金振込や口座振替等、基盤取引の推進に取組むとともに、非対面チャネルの拡充に努めた結果、期末残高は前期比0.94%増加の7,112億円と2期連続で増加しました。



預金者別預金残高構成比

地域のお客様の信頼・信用のバロメーターである個人預金の総預金に占める割合は81.6%となっています。地域金融機関として、地域の個人のお客様を中心とした預金業務を行っています。



損益の状況

実質業務純益

16億円

本業のもうけを示す実質業務純益は、有価証券運用において収益効果が期待できないファンドのポジションの変更に伴う投資信託の解約損等を計上した結果、前期比19.06%減少の16億73百万円となりました。



当期純利益

13億円

当期純利益は、法人税等調整額等が増加した影響もあり、前期比31.37%減少の13億16百万円となりました。



自己資本の状況

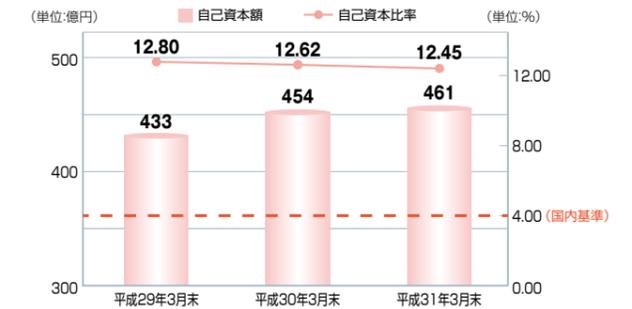
自己資本比率

12.45%

自己資本額

461億円

自己資本額は、前期比1.50%増加の461億円となりました。一方、リスク・アセット等は、貸出金残高の増加等により前期比2.85%増加したため、自己資本比率は前期比▲0.17ポイントの12.45%となりました。国内業務のみを行う金融機関に必要な基準4%（規制値）を大幅に上回っており、健全性に問題はありません。



不良債権の状況 (金融再生法ベース)

不良債権比率

4.50%

不良債権額

183億円

事業再生先への支援に取組んできた結果、不良債権額は前期比2億円減少の183億円となりました。不良債権比率は前期比▲0.12ポイントの4.50%となりました。

なお、不良債権には、担保や貸倒引当金等により適切に保全が図られており、備えは万全です。

